

学生図書委員会 活動報告ほか

図書委員会の1年を振り返って

3S 田中 智大

今年度図書委員長を務めさせていただきました3年電子制御工学科の田中です。今回の執筆にあたって報告と振り返りをしたいと思います。

今年度はブックハンティング、広報、雑誌入れ替え、メディアコンペティション、読書週間プロジェクトに加えて福袋プロジェクトを行いました。

今年度は読書案内100選の改定を行いました。みなさんは読書案内100選の存在を知っていたでしょうか？（私は知りませんでした…）読書案内100選は1981年（昭和56年）に必読図書100選として制定され、1994年（平成6年）に現在の読書案内100選に名称変更され、同時に一部が改定されました。しかしながら、入手困難になってきた本などが出てきたため来年5月より新元号となる節目の年に読書案内100選の改定を行うことにしました。難しい本もありますが、中には読みやすい本もありますので、24年ぶりに新しくなった読書案内100選に皆さんもチャレンジしてみたいかがでしょうか？（この図書館だよりが発行されているところには名称が変わっているかもしれませんが。）去年より行われた福袋企画ですが、去年は全て図書館で行っていました。そこで、福袋プロジェクトでは昨年度では図書館に丸投げしていたラッピングや図書の選定などを図書委員で行い、図書委員が主体となって福袋プロジェクトを行います。作業にかかわる人数も増えますので、学生の想像力を反映させることができるとと思います。去年より始めた図書委員公式Twitterは皆さんが親しみやすいようになるべく柔らかい感じで運用をしてみたつもりです。これからも奈良高専の図書館について知っていただくためにより効果的な運用について模索していけたらと思います。今年のブックハンティングも例年同様に各クラスで希望があった図書だけでなく図書委員がオススメする本も購入し、一部を読書週間として展示を行いました。

この1年間で私は連絡の仕方から学生会への予算の請求など、様々なことを学ぶことが出来て実りのある1年となりました。図書委員2年目で非常に頼りなかったかもしれませんが、副委員長や前委員長をはじめとする委員のみなさんの支えのおかげで、なんとか1年間図書委員長としての役割を全うすることができたかと思っています。

最後になりましたが、今年度の図書委員会を担当してくださった松井真希子先生、そして図書館の植山様、柳林様に感謝申し上げます。

近頃世間では、活字離れが進んでいると騒がれています。スマートフォンの普及で、小説の電子化が進んだことも少なからず関係しているのでしょう。さて、皆さんはどのようなジャンルの本を読まれるのでしょうか。私は小説を読むことが多いのですが、読み始めるとなかなかやめられず、何か用事を頼まれても立ち上がることができないことがよくあります。おかげで親に小言を言われたことも多々ありますが、性分というものはなかなか変わらないもので、すぐにまた本の世界に戻ってしまうのです。その後何が起こるかは想像に難くないと思いますが…。

周知の通り、図書館にはたくさん本があります。そしてそこには歴史書、専門書、そして小説などの形で様々な歴史や知恵、物語が隠れているのです。人間の創り出した知恵や物語は、難しいものも沢山ありますがどれも素晴らしいものだと僕は考えています。普段なかなか図書館に行く気が起きないという方も、ほんの10分程度足を運んでみるのはいかがでしょうか。そして少しでも気になった本が見つければ、とりあえず手にとってみることをお勧めします。もしもその本が気に入ったなら、ぜひ借りて、家で紅茶を片手にゆっくりと読んでみるのもいいでしょう。最後は私がしてみたいことなのですが。

ではここで、私のお勧めする小説、上橋菜穂子さん著の「獣の奏者」をご紹介します。

女性の王、「真王（ヨジェ）」が治める地域と、男性の統治者である「大公（アルハン）」が支配する地域の二つに分かれた王国が舞台となる物語。そしてこの世界には「王獣」と「闘蛇」という二種類の獣がいた。大公領で生まれ育った主人公の少女エリンは、闘蛇の飼育係である母親が処刑されたことで、蜂飼いの男性に育てられることになる。その後エリンは王獣を飼育する学校に入学し、獣と心を通わせようとする。そして、母親の死に闘蛇の飼育に関するある秘密が隠されていることに気づいたエリンは、昔からの戒めを破り、獣の秘密に近づこうとするのだった。

…続きが気になりませんか？もしこれを見て少しでも「獣の奏者」に興味をもっていただけた方はぜひ図書館で借りてみて下さい。

さて、ここまでのオチ、というわけではないのですが、私は小説とは特に関係のない「雑誌入れ替えプロジェクト」のリーダーとして活動させていただいています。年に一度、学生の皆さんから新しく図書館に入れたい雑誌のアンケートを実施していますので、ぜひそちらもよろしく願いますね。

ここまで読んでいただけた皆さん、ありがとうございました。

広報プロジェクトの紹介

4C 小野 初

皆さんこんにちは。今年は広報プロジェクトリーダーを務めさせていただきました、物質化学工学科4年の小野です。今回は、この図書館だよりのスペースを使って、広報プロジェクトがこの1年間で、どんなことをしてきたのかを紹介したいと思います。

広報プロジェクトは、主に図書館だよりを作るときに中心となって活動したり、活動中の様子を撮影したりするプロジェクトです。例えば、CAMPUSの“私たち、ブックハンティングでこの本を買いました！”のページを作るために撮影・編集しているのも実は僕たち広報プロジェクトです。これらは例年通り行ってきた活動ですが、今年からは、もっと広報らしい活動もしたいと思い、新しく

Twitter (ID:@nitnctoshiin URL: <https://twitter.com/nitnctoshiin?lang=ja>)

を用いた広報活動も行うようになりました。このアカウントは前年度の委員長が、図書委員からの連絡をするために、非公式で作ってくれていたものなのですが、これを広報プロジェクトが正式に引き継ぎ運用するようになりました。今までは図書委員に対する連絡が主な内容でしたが、これからは学生さんへ向けた告知などを増やしていく予定です。例としては、ブックハンティングで購入した本が書架へ追加されたとき、各種催し（雑誌入れ替えアンケート・福袋企画）などの案内などがあります。図書館に関する情報が一目でわかるはずなので、Twitterをやっている学生さんは是非フォローしてみてください！あと、CAMPUSの“私たち、ブックハンティングでこの本を買いました！”のページの編集もしています。

主な活動は上記のような内容になります。図書委員の広報として、もっとこうすればいいのでは？などの意見・アドバイスがある人は、来年度から図書委員になって広報プロジェクトに入ってもらってもいいし、Twitterでリプライを飛ばしてもらっても構いません。実際に図書館を利用する学生さんからの新鮮な意見・感想などお待ちしております。

図書館ではさまざまな展示をおこなっています。

図書館では、学生図書委員会による読書週間展示のほかに、テーマを決めて展示をおこなっています。平成30年秋にはその時公開中だった映画の原作（「旅猫レポート」や「億男」など）を展示し、TOEICおすすめ問題集の展示本は5冊すべてが貸出されました。

今後も「なつかしいあの頃70年代・80年代のお話」「新社会人応援企画！就職・仕事に関する本」の展示を予定しておりますので楽しみに！